

科目名	日本語		
担当教員名	前田 庸子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

2年次の外国人留学生を対象とする。

日本語の四技能(読む・書く・話す・聞く)をバランスよく向上させることを目標とし、専門科目の授業が問題なく受講できるように一段上の日本語運用力を身につける。

#### 内容

- さらに高度な日本語力を身につけるため、新聞、雑誌、日本人向けに書かれた本などからさまざまなスタイルの文章を取り上げ、読解練習を行う。
- 社会性のある話題について自分の考えを述べる練習を行う。
- 伝えたい事柄を自分の言葉で正確に伝えられるように練習を行う。
- 構文・文法・語彙・表現の補強を行う。

#### 評価

ペーパーテスト70点・出席30点で評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	日本語		
担当教員名	八木 真千子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

2年次の外国人留学生を対象とする。

日本語の四技能(読む・書く・話す・聞く)をバランスよく向上させることを目標とし、専門科目の授業が問題なく受講できるように一段上の日本語運用力を身につける。

#### 内容

- さらに高度な日本語力を身につけるため、新聞、雑誌、日本人向けに書かれた本などからさまざまなスタイルの文章を取り上げ、読解練習を行う。
- 社会性のある話題について自分の考えを述べる練習を行う。
- 伝えたい事柄を自分の言葉で正確に伝えられるように練習を行う。
- 構文・文法・語彙・表現の補強を行う。

#### 評価

ペーパーテスト70点・出席30点で評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	日本語		
担当教員名	前田 庸子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

2年次の外国人留学生を対象とする。日本語の四技能(読む・書く・話す・聞く)をバランスよく向上させることを目標とし、専門科目の授業が問題なく受講できるように一段上の日本語運用力を身につける。

#### 内容

- さらに高度な日本語力を身につけるために、生教材(新聞・雑誌・日本人向けに書かれた本など)からいろいろなスタイルの文章を取り上げ、読解練習を行う。
- 社会性のある話題について自分の考えを述べる練習を行う。
- 伝えたい事柄を自分の言葉で正確に伝えられるように練習を行う。
- 構文・文法・語彙・表現の補強を行う。

#### 評価

ペーパーテスト70点・出席30点で評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	日本語		
担当教員名	八木 真千子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

2年次の外国人留学生を対象とする。日本語の四技能(読む・書く・話す・聞く)をバランスよく向上させることを目標とし、専門科目の授業が問題なく受講できるように一段上の日本語運用力を身につける。

#### 内容

- さらに高度な日本語力を身につけるために、生教材(新聞・雑誌・日本人向けに書かれた本など)からいろいろなスタイルの文章を取り上げ、読解練習を行う。
- 自分の身近な話題ばかりでなく、社会性のある話題についても自分の考えを述べる練習を行う。
- 伝えたい事柄を自分のことばで正確に発信する練習を行う。
- 構文・文法・語彙・表現の補強を行う。

#### 評価

ペーパーテスト70点・出席30点で評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	日本語		
担当教員名	八木 真千子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

3年次の外国人留学生を対象とする。「読む・書く・話す・聞く」という日本語の四技能をさらに向上させ、実際の場面での日本語運用力、応用力を高める。

#### 内容

- 1 新聞、雑誌、文学作品、専門書などさまざまな分野の読み物を初見で読み、正確な読解ができるよう練習を行う。教材は教場で配布する。
- 2 長文のテキストを速読し、理解する練習を行う。
- 3 得意な分野の話題ばかりでなく、抽象的な話題、社会性のある話題についても議論ができるよう、自らの考えを述べる練習を行う。
- 4 よりよいコミュニケーションが取れるよう、相手の話を正しく聞き取り、理解する訓練を行う。また、自分が表現したい事柄を、誤解のないように相手に伝える練習を行う。
- 5 日本語学習として、構文・文法・語彙・表現の補強を行う。

#### 評価

ペーパーテスト70点・出席30点で評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	日本語		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

3年次の外国人留学生を対象とする。これまで身につけてきた日本語の四技能(読む・書く・話す・聞く)をさらにバランスよく向上させることを目標とし、より高度な日本語運用力を身につける。

#### 内容

- さらに高度な日本語力を身につけるため、新聞、雑誌、文学作品、専門書などさまざまな分野の読み物に触れ、正確な読解ができるよう練習を行う。
- ある程度まとまりのあるテキストを速読し、理解する練習を行う。
- 卑近な話題ばかりでなく、抽象的な話題、社会性のある話題についても議論ができるよう、自分の考えを述べる練習を行う。
- 相手の話を正しく聞き取り理解し、よりよいコミュニケーションが取れるように練習を行う。
- 日本語学習として、構文・文法・語彙・表現の補強を行う。

#### 評価

ペーパーテスト70点・出席30点で評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	日本語		
担当教員名	八木 真千子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

3年次の外国人留学生を対象とする。「読む・書く・話す・聞く」という日本語の四技能をさらに向上させ、実際の場面での日本語運用力、応用力を高める。

#### 内容

- 1 新聞、雑誌、文学作品、専門書などさまざまな分野の読み物を初見で読み、正確な読解ができるよう練習を行う。教材は教場で配布する。
- 2 長文のテキストを速読し、理解する練習を行う。
- 3 得意な分野の話題ばかりでなく、抽象的な話題、社会性のある話題についても議論ができるよう、自らの考えを述べる練習を行う。
- 4 よりよいコミュニケーションが取れるよう、相手の話を正しく聞き取り、理解する訓練を行う。また、自分が表現したい事柄を、誤解のないように相手に伝える練習を行う。
- 5 日本語学習として、構文・文法・語彙・表現の補強を行う。

#### 評価

ペーパーテスト70点・出席30点で評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	日本語		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

3年次の外国人留学生を対象とする。「読む・書く・話す・聞く」という日本語の四技能をさらに向上させ、実際の場面での日本語運用力、応用力を高める。

#### 内容

- 1 新聞、雑誌、文学作品、専門書などさまざまな分野の読み物を初見で読み、正確な読解ができるよう練習を行う。教材は教場で配布する。
- 2 長文のテキストを速読し、理解する練習を行う。
- 3 得意な分野の話題ばかりでなく、抽象的な話題、社会性のある話題についても議論ができるよう、自らの考えを述べる練習を行う。
- 4 よりよいコミュニケーションが取れるよう、相手の話を正しく聞き取り、理解する訓練を行う。また、自分が表現したい事柄を、誤解のないように相手に伝える練習を行う。
- 5 日本語学習として、構文・文法・語彙・表現の補強を行う。

#### 評価

ペーパーテスト70点・出席30点で評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)



科目名	日本語表現技術		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

2年次の外国人留学生を対象とする。語彙、構文、表現文型などさらに学習を積み上げる。同時に、表現したいこと、述べたいことが正確に表現できるように練習を行い、一段上の表現技術を身に付ける。

## 内容

日本語での表現技術を高めるため、以下の項目を取り上げ、トレーニングを行う。

### 事実と意見の区別

絵を見て事実を描写する

聞き取った事柄を文章にする

事実と意見を分ける

文章の役割を考える(問題提起と意見文)

### 正しい文を書く

まんがを文章であらわす

悪文を訂正する

難解な文をわかりやすく書き直す

5W1Hを落とさずに書く

### 要旨をまとめる

段落に分けて考える

段落の順序を意識する

要約をする

教場で配布する印刷物をテキストとする。

## 評価

ペーパーテスト70点・出席30点で評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	日本語表現技術		
担当教員名	小田 明子、似田 美恵子、安恒 佳代子		
ナンバリング			
学科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学年	2	クラス	1Bクラス
開講期	前期	必修・選択の別	選択
授業形態		単位数	2
資格関係	日本語		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

2年次の外国人留学生を対象とする。語彙、構文、表現文型などさらに学習を積み上げる。同時に、表現したいこと、述べたいことが正確に表現できるように練習を行い、一段上の表現技術を身に付ける。

## 内容

日本語での表現技術を高めるため、以下の項目を取り上げ、トレーニングを行う。

### 事実と意見の区別

絵を見て事実を描写する

聞き取った事柄を文章にする

事実と意見を分ける

文章の役割を考える(問題提起と意見文)

### 正しい文を書く

まんがを文章であらわす

悪文を訂正する

難解な文をわかりやすく書き直す

5W1Hを落とさずに書く

### 要旨をまとめる

段落に分けて考える

段落の順序を意識する

要約をする

教場で配布する印刷物をテキストとする。

## 評価

ペーパーテスト70点・出席30点で評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	日本語表現技術		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

2年次の外国人留学生を対象とする。語彙、構文、表現文型などさらに学習を積み上げる。同時に、表現したいこと、述べたいことが正確に表現できるように練習を行い、一段上の表現技術を身に付ける。

## 内容

日本語表現技術 に引き続き、さらに文章表現力を高めるために、次の項目を取り上げて練習を行う。

### 要旨をまとめる

段落ごとに内容をつかむ

自分のことばで内容をまとめる

### 数字を読んで表現する

図表の提示

数字の文字化

データについての考察

結果のまとめ

### 総合練習 - 読解・表現技術

ことわざについて意見を述べる

テキストを読んで意見を述べる

毎回教場で配布する印刷物をテキストとする。

## 評価

ペーパーテスト70点・出席30点で評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	日本語表現技術		
担当教員名	小田 明子、似田 美恵子、安恒 佳代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

2年次の外国人留学生を対象とする。語彙、構文、表現文型などさらに学習を積み上げる。同時に、表現したいこと、述べたいことが正確に表現できるように練習を行い、一段上の表現技術を身に付ける。

## 内容

日本語表現技術 に引き続き、さらに文章表現力を高めるために、次の項目を取り上げて練習を行う。

### 要旨をまとめる

段落ごとに内容をつかむ

自分のことばで内容をまとめる

### 数字を読んで表現する

図表の提示

数字の文字化

データについての考察

結果のまとめ

### 総合練習 - 読解・表現技術

ことわざについて意見を述べる

テキストを読んで意見を述べる

毎回教場で配布する印刷物をテキストとする。

## 評価

ペーパーテスト70点・出席30点で評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	専門日本語演習		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

2年次の外国人留学生を対象とする。日本語学習のさまざまな項目の中で、これまであまり練習されなかった事柄に焦点を当て、トレーニングを行う。特に自然な日本語のリズムが身につけられるように学習を進める。

## 内容

発音(日本語の発音の仕組みを理解し、発音・聴解練習を行う。)

音の聞き分け - 長音・短音 / 清音・濁音 / 促音・撥音など

## 助詞

基本的な用法の確認

動詞との関係を考える

類似表現の比較

## 語彙

和語と漢語 - 音読みのことば・訓読みのことば

文体によって変わる語彙 - 話しことば・書きことば

## 文法・構文

条件表現

原因・理由を表す表現

受身・使役・授受表現

視点[配慮表現・スルとナル]

その他 受講者の力に合わせ、適宜、文法項目を取り上げる。

教材は教場で配布する。毎回、練習プリントを課題として課す。

## 評価

ペーパーテスト70点・出席30点で評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	専門日本語演習		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

2年次の外国人留学生を対象とする。日本語のさまざまなトピックの中で、これまであまり練習されなかったものに焦点を当て、正確に日本語が使えるようトレーニングを行う。

#### 内容

##### 発音

話しことばの発音 - 省略形

アクセント - 同音異義語と関連して

イントネーション - 「ね」「よ」「じゃない」などと関連して

##### 助詞 - 課題として毎回提示

基本的な用法の確認

終助詞について

##### 語彙

漢字 訓読みのことば

思考を表すことば - 「思う」「考える」など

推量を表すことば - 「だろう」「のだろう」など

##### 文法・構文

文末表現 A - 断定する表現

文末表現 B - 婉曲表現

文末表現 C - 否定形を含む表現 「ないことはない」「～かねない」等

##### 読解

速読の練習

まとめる練習

受講生のレベルに合わせ、適宜必要な項目を取り上げて練習する。

教材は教場で配布する。毎回、練習問題を課題として課す。

#### 評価

ペーパーテスト70点・出席30点で評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	日本研究C		
担当教員名	前田 庸子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

2年次の外国人留学生を対象とする。専門課程の学習に必要な日本文化・日本社会に関する基本的な知識を習得する。同時に日本の経済活動を理解する助けとなるような社会的習慣を学び、経済活動に関係する一般的な知識を得、経済に関する語彙を増やす。

#### 内容

日本の経済活動を理解する上で助けになるトピックを取り上げ、学習する。テキストは、外国人のために書かれた日本経済に関するテキストを教材として取り上げ、それに新聞、雑誌などの生の読み物を加えていく。経済関連の知識と同時に、文型、語彙なども増やしていく。

#### 評価

ペーパーテスト70点、出席30点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 【参考図書】

James M.Vardaman 『英日対訳 日本現代史』 IBCパブリッシング

科目名	日本研究C		
担当教員名	小田 明子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

2年次の外国人留学生を対象とする。専門課程の学習に必要な日本文化・日本社会に関する基本的な知識を習得する。日本の社会、経済・企業活動などを理解するための一般的な知識を得る。

#### 内容

今日の日本社会、日本の経済・企業活動を理解する上で助けとなるトピックを取り上げ、学習する。新聞や雑誌、ニュースなどの生の教材も加え、現代日本の様々な側面を学ぶ。知識を得るだけでなく、いろいろな日本語に触れることで、語彙・文型を広げ、読解力、文章力、発表力など日本語力のアップにつなげていく。

#### 評価

ペーパーテスト70点、出席30点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 【教科書】

最初の授業で指示する。

##### 【参考図書】



科目名	日本研究D		
担当教員名	前田 庸子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

2年次の外国人留学生を対象とする。専門課程の学習に必要な日本文化・日本社会に関する基本的な知識を習得する。同時に日本のビジネス活動に関係する一般的な知識を得、ビジネスに関係する語彙を増やす。

#### 内容

日本のビジネス活動を理解する上で助けになるトピックを取り上げ、学習する。

- 1 日本ビジネスが抱える問題点に関する資料を読み、話し合う
- 2 日本企業の組織に関する一般的な知識を得る

テキストは、外国人のために書かれた日本経済に関するテキストを教材として取り上げ、それに新聞、雑誌などの生の読み物を加えていく。

#### 評価

ペーパーテスト70点、出席30点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

##### 【参考図書】

James M.Vardaman 『英日対訳 日本現代史』 IBCパブリッシング

科目名	日本研究D		
担当教員名	小田 明子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

2年次の外国人留学生を対象とする。専門課程の学習に必要な日本文化・日本社会に関する基本的な知識を習得する。日本のビジネス・企業活動に関する一般的な知識を学びながら、同時に実践的な学習も取り入れ、日本語の運用力を高めていく。

#### 内容

日本のビジネス・企業活動を理解する上で助けとなるトピックを取り上げ、学習する。新聞・雑誌、ニュースなど生の教材も取り入れて、日本の産業界、企業の最近の動向などを知ってもらう。

- 1 日本のいろいろな業界の企業活動の動向、特徴、問題点など一般的な知識を学ぶ。
- 2 日本のビジネス慣習、ビジネスマナーについて、またそれらの最近の変化などについて知る。
- 3 様々なビジネス文書について学び、実際に書いてみる。
- 4 発表の基本について学び、簡単な報告などを行う。

#### 評価

ペーパーテスト70点、出席30点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 【教科書】

最初の授業で指示する。

##### 【参考図書】

科目名	日本研究 E		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

3・4 年次の外国人留学生を対象とする。

日本文化・日本社会に関するさまざまな話題、異なる分野の読み物にふれ、知識を習得する。

日本の経済活動、社会活動を理解する手助けとなるような社会的習慣を知る。

日本語学習に関しては、特に、語彙力・要約力・聴解力・速読力向上を目標に練習を行う。

#### 内容

- 1 日本社会を理解する上で助けになるトピックをさまざまな分野から取り上げ、学習する。教材として、新聞・雑誌などの生の読み物を加えていく。
- 2 私的な場面ばかりでなく、公的な場面でも日本語だけで円滑なやりとりが行えるように、日本語学習項目として「待遇表現・敬語表現」などを取り上げ練習する。
- 3 読解力を増やすために、日本語の構文学習とともに、社会生活における頻出語彙の習得に重点をおいて学習を進める。そのため、「社会」「環境」などのテーマ別に語彙学習の課題を毎回課す。
- 4 受講生の状況を見て、日本語関連の資格試験(日本語能力試験・ジェトロビジネス日本語試験・Jテスト・日本語文章能力検定試験・漢字検定試験など)について授業内で触れることもある。

#### 評価

ペーパーテスト70点・出席30点で評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	日本研究F		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

3・4年次の外国人留学生を対象とする。

日本文化・日本社会に関するさまざまな話題、異なる分野の読み物にふれ、知識を習得する。

日本の経済活動、社会活動を理解する手助けとなるような社会的習慣を知る。

日本語学習については、特に、語彙力・要約力・聴解力・速読力の向上を目標にする。

#### 内容

- 1 日本社会を理解する上で助けになるトピックをさまざまな分野から取り上げ、学習する。教材として外国人のために書かれた日本社会に関するテキストを用いるほか、新聞、雑誌などの生の読み物を加えていく。
- 2 より日本語らしい表現でやりとりができるように、「待遇表現」をはじめ、さまざまな表現文型を実際の場面に合わせて学習する。
- 3 社会的な問題について意見を述べるができるように、日常語彙はもとより、抽象語彙の習得に力を入れる。また、報道文などに現れる慣用句・表現を学習する。この語彙学習のために、毎回課題を課す。
- 4 受講生の状況を見て、日本語関連の資格試験(日本語能力試験・ジェトロビジネス日本語試験・Jテスト・日本語文章能力検定試験・漢字検定試験など)について授業内で触れることもある。

#### 評価

ペーパーテスト70点・出席30点で評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	日本研究（地理）		
担当教員名	似田 美恵子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

1年次の外国人留学生を対象とする。専門課程に進むために必要な日本文化・日本社会に関する基本的な知識を習得する。

#### 内容

日本の各地方に関する知識を学び、日本社会で活動する際、当然知っているべき基本的な事柄を覚えるようにする。

外国人のために書かれた日本事情を紹介するテキストを使用して、日本の地理的条件や日本社会の現状、人々の生活の様子などを学ぶ。

日本の都市と人口

日本の気候

日本列島

必要に応じて新聞記事を教材に取り上げる。

#### 評価

ペーパーテスト70点、出席30点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

##### 【教科書】

豊田豊子著 『日本の地理と社会』 凡人社

江波戸昭監修 『日本の地図』 成美堂出版

科目名	日本研究（地理）		
担当教員名	安恒 佳代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

1年次の外国人留学生を対象とする。専門課程に進むために必要な日本文化・日本社会に関する基本的な知識を習得する。

#### 内容

日本の各地方に関する知識を学び、日本社会で活動する際、当然知っているべき基本的な事柄を覚えるようにする。

外国人のために書かれた日本事情を紹介するテキストを使用して、日本の地理的条件や日本社会の現状、人々の生活の様子などを学ぶ。

日本の都市と人口

日本の気候

日本列島

必要に応じて新聞記事を教材に取り上げる。

#### 評価

ペーパーテスト70点、出席30点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

##### 【教科書】

豊田豊子著 『日本の地理と社会』 凡人社

江波戸昭監修 『日本の地図』 成美堂出版

科目名	日本研究（産業）		
担当教員名	似田 美恵子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

1年次の外国人留学生を対象とする。専門課程に進むために必要な日本文化・日本社会に関する基本的な知識を習得する。

#### 内容

日本の各産業についての現状と問題点を学び、日本社会への理解を深める。また、それに関する産業以外の諸問題についても触れることとする。

外国人のために書かれた日本の産業に関するテキストに沿って進める。

日本の産業

日本の農業・農産物・畜産業

日本の水産業・水産業の変化

日本の工業

機械工業

自動車・家庭用電器、

半導体・コンピューター・工作機械・産業用ロボット

中小工場と大工場

日本の商業

日本の交通

必要に応じて、新聞記事を教材として取り上げる。

#### 評価

ペーパーテスト70点、出席30点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

##### 【教科書】

豊田豊子著『日本の地理と社会』凡人社

科目名	日本研究（産業）		
担当教員名	安恒 佳代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-日本語強化科目群		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	日本語		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

1年次の外国人留学生を対象とする。専門課程に進むために必要な日本文化・日本社会に関する基本的な知識を習得する。

#### 内容

日本の各産業についての現状と問題点を学び、日本社会への理解を深める。また、それに関する産業以外の諸問題についても触れることとする。

外国人のために書かれた日本の産業に関するテキストに沿って進める。

日本の産業

日本の農業・農産物・畜産業

日本の水産業・水産業の変化

日本の工業

機械工業

自動車・家庭用電器、

半導体・コンピューター・工作機械・産業用ロボット

中小工場と大工場

日本の商業

日本の交通

必要に応じて、新聞記事を教材として取り上げる。

#### 評価

ペーパーテスト70点、出席30点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

##### 【教科書】

豊田豊子著『日本の地理と社会』凡人社